

初等理科教育冬季研修会

於：岡山県教育センター 2000. 12. 26

参加者 小野（福田小） 高松（仁美小） 西本（附属小） 松本（国府小）
田辺（福浜小） 八谷（幡多小） 福井（伊島小）

今日の研修会は、まさに観台グループのオンパレードでありました。会場に入ると、受付で小野先生が事務局の仕事をしており、総司会が松本先生で事務局からの連絡を西本先生がやり、最初の発表者が田辺先生、その質疑応答の司会を福井がやる…という具合でした。

田辺先生の発表は実に落ち着いており、分かりやすく堂々としたものでした。練習では25分間かかったそうですが、本番は33分間。このことから丁寧な発表であったことがうかがえます。

質疑応答では、はじめに発表で分からなかったことやイメージのわきにくかったことがなかったか尋ねましたが、質問はありませんでした。次に、今回の発表の柱である、教具と課題選択について質問を受け付けたところ13分間という短い時間であったにもかかわらず、6人もの人に質問をしていただきました。質問の内容は、①条件統制を行うところで実際に子供達がどのような様子だったか、②単元の途中でふりこから衝突に変えた子がいたのはなぜか、③もし課題選択時に全員が衝突を選択したらどうするか、④改定案にある子供が作るゲームでふりこを使ったものにはどんなものが考えられるか、⑤子供の興味・関心に頼って課題選択をさせても良いのか、

⑥1次のオリエンテーションの時間配分が重要ではないか…などです。予定されていた時間を大幅に超過してしまいましたが、今後につながる有意義な示唆をえられました。

.:*:・'° ★. :*:・'° ☆. :*☆. :*:・'° ★. :. :*:・'° ★. :*:・'° ☆. :*☆. :*:・'° ★.

まもなく21世紀。静観台グループも新しい時代をむかえ、より高い活動へとステップアップしていきたいと考えています。たとえば、小学校で実施可能な実験のデータベースを作る、ホームページをアップして活動の様子を世界中に発信する、そして何よりも静観台としての理論の柱（静観台メソッド）を構築できればと願っています。

.:*:・'° ★. :*:・'° ☆. :*☆. :*:・'° ★. :. :*:・'° ★. :*:・'° ☆. :*☆. :*:・'° ★.

静観台メソッド第1案 ロール・プレイング・メソッド(role-playing method)

子供達は単元のはじめにミッションを与えられ、限られた時間の中で科学の魔界を探検する。与えられたアイテムは、科学の魔界の地図、単元の残り時間を知る時計、実験と対決するための呪文（ヒント）、そして自分の来た道を書くヒストリーだ。友達と力を合わせ、いくつのダンジョン（実験）を乗り越えて科学の魔界の秘密を解き明かすことができるのか？

